今日の主の回復の主要な項目の極めて重要な点（1）　第1週 – 神のエコノミーの回復

鳥瞰	わたしたちは、神のエコノミー、神のエコノミーの的(mark)、神のエコノミーの目標（goal）という天のビジョンの真理の中を歩かなければなりません。このビジョンはわたしたちの中で更新されて、すべてを支配するビジョンとならなければなりません。神のエコノミーは使徒たちを通して明らかにされましたが、信者たちは神のエコノミーに対する正確な理解を失ったので、それが主によって回復される必要があります：わたしたちは主の回復を認識して、死と分裂から遠ざからなければなりません：わたしたちは死から遠ざかり、命としてのキリストによって飲み尽くされなければなりません。わたしたちはどのような種類の分裂も拒絶し、どのような教えの風にも、どのような霊的死の拡散にも抵抗し、神のエコノミーの教えに反して、分裂やつまずきの原因を作る者たちを警戒し、また彼らから離れ去らなければなりません。	
	真理要点	経験適用
1日	1．敵はどのようなことを利用してかき乱し、神のエコノミーの的からそらしますか？ 2．神が何であるか、神の実質とは何でしょうか？	1．ユダヤ教とグノーシス主義は初期のクリスチャンを逸脱させ、正しい路線からそらしました。今日、この二種類の人たちがわたしたちをかき乱すことはありませんが、敵はキリスト教の多くの良いものでさえ利用し、神のエコノミーの的から主の子供たちをそらそうとしています。 2．神の実質は霊です。全能のすべてを含む宇宙的な神の本質そのものは、霊にほかなりません。神は製造する方であり、製品としてのご自身を複製することを意図しておられます。ですから、神が複製するものは何であれ、霊、すなわち、ご自身の実質そのものでなければなりません。
2日	1．結婚生活の中でどのようにして思いが霊の中に戻る経験をしますか？ 2．召会の堕落とはどういったものでしょうか？	1．ガラテヤ人への手紙第6章18節は、主の恵みがわたしたちの霊と共にあるようにと言います。わたしたちは霊の中へと入るとき、主を恵みとして享受します。わたしたちは妻、あるいは夫と争い始めるとき、霊に走って戻らなければなりません。思いは争う国家ですが、霊は恵みの国家です。 2．もしわたしたちが、主がわたしたちの霊と共におられることを経験せず、こうして恵みの臨在を失うなら、それは召会の堕落です。わたしたちの最高の享受と経験は、わたしたちの主がわたしたちの霊と共におられることです。これが失われるとき、召会の堕落があります。
3日	1．ローマ人への手紙の最後の三章でわたしたちはどのような啓示を見ることが出来ますか？ 2．旧約から新約にある、ひとつの確かな原則とは何ですか？	1．パウロは使徒が神とキリストにしたがって受け入れることを通してもたらされた、からだの生活のブレンディングと交わりを見せています。第16章で彼は推薦とあいさつによって、わたしたちをキリストのからだ全体のブレンディングの生活にもたらし、平安の神が、サタンをわたしたちの足の下に踏み砕き、わたしたちがキリストの豊富な恵みを享受することができるようにします。 2．神の民の大多数が神の定められた御旨を完成することができないときはいつも、神が入って来て回復を持つということです。しかし、その回復は神の民の全体をもってでは無く、散らされた民の少数だけが戻って行います。同様に、からだの建造についての彼の預言を成就する必要があり、彼の回復は常に少数の者と共にあって、大多数の者と共にはありません。
4日	1．主の回復にはキリストのからだの一を回復する必要があることを説明して下さい。 2．どのようにしてキリストのからだのすべての肢体の機能を回復しますか？	1．過去の世紀を通して、クリスチャンは何度も分裂してきました。沢山のクリスチャンは多くの違いによって分裂し、また彼らの栄光として、その違いを用いて、分裂を建て上げました。しかしながら、わたしたちにとって、この種の実行は恥です。主の回復は、人種、文化、教育水準が異なっていても、すべてのクリスチャンが一であるべきであることを証ししています。わたしたちが分裂する理由はありません。 2．主は彼のからだのあらゆる肢体が機能する肢体であることを願っておられます。ほとんどすべてのクリスチャングループは、聖職者と平信徒の制度を実行しています。この制度はキリストの肢体の機能、能力、有益性を無にし、殺します。主の回復は、キリストの有機的なからだのすべての肢体の賜物、機能、能力を発展させるためです
5日	1．何故わたしたちは分裂を引き起こす者から遠ざかる必要がありますか？ 2．祭司となるため、わたしたちの「聞くこと」が重要であるのは何故ですか？	1．たとえ、わたしたちの近親者が分裂を引き起こす者であるとしても、わたしたちは彼らの分裂から離れ去らなければなりません。モーセの姉ミリアムはらい病となったとき、モーセの前から隔離されました。分離し、あるいは隔離するとは、彼を放棄し捨て去ることではありません。それはただ、らい病の人を残りの神の民から分離しておき、彼らがらい病に汚染されないようにすることです。いったんらい病の人がいやされると、その人は清いと宣告されて、神の民の交わりへと戻って来ることができました。 2．積極的に聞くことは、消極的に聞くことからわたしたちを救い出します。わたしたちはキリストの血で自分の耳を洗う必要があります。血が洗うところに、その霊の油塗りがあります。これはわたしたちが神の祭司として対処する必要がある最初の事柄です。どの召会も消極的な事柄を聞くことをやめるなら、その召会はとても健康で生き生きとしているでしょう。
6日	1．野心と天然がもっとも召会を破壊するのは何故ですか？ 2．レビ記第11章から「食べる」ことがとても重を要なことを説明して下さい。	1．穀物のささげ物には、発酵させる蜜がありません。主の務めと働きの中で、野心はパン種であり、堕落をもたらします。また、天然の感情（愛情）は密であり、腐敗をもたらします。わたしたちにはただ、主の死（13節の穀物のささげ物の塩によって表徴された）の十字架につけることだけがあるべきです。そうすれば、わたしたちは純粋なへりくだりと純粋な愛を生き出すことができるでしょう。 2．食べるということは、わたしたちの外側にあるが、わたしたちの内側に影響を及ぼし得るものと接触することです。これは特に、わたしたちが人と接触することを指しています。わたしたちは聖なる神によって要求された聖なる生活をしようとするなら、人と接触することに注意する必要があります。ある種の人々との接触は、わたしたちが再構成されるようにし、こうしてわたしたちを別の種類の人にすることができます。
まとめ	主の回復を認識し神のエコノミーを完成させるために、死と分裂から遠ざからなければなりません。そのために４つの事柄、聞くこと、食べること、蜜とパン種に注意する必要があります。祭司として、また奴隷として、わたしたちは先ず「聞くこと」を学ぶ必要があります。個人、召会に関わらず、積極的な事柄を聞くなら、健康で生き生きとします。「食べること」は一種の接触です。接触するものはすべて中へと受け入れられます。真に召会がキリストのからだであることを認識し、またからだの中で奉仕をするなら、わたしたちの野心―「パン種」と天然の命からもたらされる天然の愛情（感情）―「蜜」は押しとどめられます。わたしたちには命の成長と、また自ら進んで対処されることが必要です。	